

展覧会 「禅—心をかたちに」

京都国立博物館 平成知新館
東京国立博物館 平成館

平成28年4月12日(火) ～ 5月22日(日)

平成28年10月18日(火) ～ 11月27日(日)

約1500年前、達磨大師によってインドから中国へ伝えられたといわれる禅は、臨済禅師によって広がり、やがて日本に伝えられました。中世には武家をはじめ、天皇家や公家の帰依を受け、日本の社会と文化に大きな影響を及ぼしました。江戸時代に入ると白隠禅師をはじめとする高僧ら

により民衆への普及が進み、現代においても禅は多くの人びとに受け入れられています。臨済・黄檗両宗15派の全面的な協力のもと、禅僧の肖像画や仏像、書画、工芸などを一堂に集め、国宝、重要文化財を多数含む名宝の数々で構成される、禅の真髄に触れることができる展覧会です。



慧可断臂图 雪舟等楊筆 高年寺



臨済義玄像 伝蛇足筆 真珠庵



竹林猿猴図屏風(右隻) 長谷川等伯筆 相国寺

春の京都 禅寺一斉拝観

平成28年4月12日(火) ～ 5月22日(日)

展覧会開催に合わせ、京都市内を中心に、由緒ある8つの本山寺院をはじめとした臨済宗黄檗宗寺院で、通常非公開の伽藍や寺宝の特別公開、坐禅会や写経体験・法話など、特別な催しが一斉に行われます。詳細は以下のホームページをご覧ください。

<http://www.zendera.info/>

[検索](#) 「春の京都禅寺」



開山堂襖絵「松鶴波図」 大本山建仁寺

鎌倉大坐禅会

鎌倉・大本山建長寺、大本山円覚寺

臨済禅師1150年忌・白隠禅師250年忌遠諱企画の締めくくりとなる50年に一度の大坐禅会を鎌倉で開催します。10月29日の午後1回、10月30日の午前と午後それぞれ1回ずつの計3回にわたり、提唱(禅を極められた高僧による特別講座)のあと禅僧による坐禅指導を行います。

平成28年10月29日(土)、10月30日(日)

今もなお中世の雰囲気が残る鎌倉禅の源流である建長寺と円覚寺で、初心者を含めた一般の方たちが本格的な坐禅を体験できる貴重な機会となります。詳細は8月頃、ホームページなどでも発表いたします。

[検索](#) 「臨黄ネット」



建長寺



円覚寺

問い合わせ先：臨済禅師1150年・白隠禅師250年遠諱大法会事務局

京都市中京区西ノ京壺ノ内町8-1 花園大学 禅文化研究所内 TEL 075-811-5256 FAX 075-811-1432 email: onki@rinnou.net

What is Zen?

禅ってなに

「臨済禅師1150年・白隠禅師250年遠諱」記念企画

日時：平成28年4月16日(土) 10:00～17:30(9:30開場)

場所：六本木ヒルズ ヒルズカフェ (六本木ヒルズ ヒルサイド2階)

〒106-6149 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ 森タワー ヒルサイド2階

問い合わせ先：臨済禅師1150年・白隠禅師250年遠諱大法会事務局 TEL 075-811-5256 FAX 075-811-1432

主催：臨済禅師1150年・白隠禅師250年遠諱大法会事務局 後援：日本経済新聞社、臨済会 企画協力：浅野研究所



本年(平成28年)は、臨濟宗・黄檗宗の宗祖である臨濟禪師の1150年忌、そして来年平成29年は、臨濟禪中興の祖・白隠禪師の250年忌にあたります。50年ごとに行われる大法要を「遠諱」といいます。人々への幅広い禅の普及につとめられたこの二人の祖師が、もしもこの現代に生きておられたら、いったいどのように禅をつたえるであろうか。そんな考えのもと『禅 いまを生きる』をテーマとして、遠諱実行委員会では大法要をはじめ、今春の京都国立博物館、今秋の東京国立博物館での展覧会、10月29日、30日の鎌倉での大坐禅会など、さまざまな記念事業を行います。

その一環として、平成26年にはよみうりホールで講演会、平成27年には六本木アカデミーヒルズにて講演会、鼎談、法話、写経、坐禅、禅僧との対話など、複数のイベントを同時に開催し、多数の方々に参加いただきました。

そして今回、六本木ヒルズ 2階に位置する「ヒルズカフェ」にて、スペシャル・リレートークを開催することとなりました。一般のかたへ、私たちの暮らしに活かす禅の教えを知っていただくことを目的とした連続トーク講座です。

「臨濟禪師1150年・白隠禪師250年遠諱」記念企画

日時：平成28年4月16日(土) 10:00～17:30(9:30開場)

場所：六本木ヒルズ ヒルズカフェ(六本木ヒルズ ヒルサイド2階)

3つの講座を開催します。それぞれ事前申し込みが必要です。詳しいお申し込み方法は右面をご参照ください。
各回定員：110名 各回料金：1000円(当日受付にてお支払いください)

禅ってなに？

スペシャルリレートーク

第1部 10:30～12:00(10:00より受付開始) 「禅のこころ、茶のこころ」～禅と茶 その本質に迫る～

講師：横田南嶺老師(円覚寺派管長)、千 宗屋氏(武者小路千家 家元後嗣)

モデレーター：森 昌寛師(松泉寺 副住職)

茶の湯をはじめとして、伝統文化といわれるものの多くのルーツは室町時代に遡ります。そして、その開花に物心両面で大きく関わったのが臨濟禅です。禅が茶の湯および日本文化に与えた影響とその背景、そして長い歴史を経るなか、いったい何が今日まで人々を惹き

付け、何に魅せられ今なお人々が集うのか。さらには、これからどうあるべきなのか？茶道界より、日本美術や現代美術にも造形の深い、次代の担い手である武者小路千家家元後嗣・千宗屋氏をお迎えして、円覚寺派管長横田南嶺老師との対談でその核心に迫ります。

第2部 13:00～14:30(12:30より受付開始) 『「足もとを見よ」の国際性』

講師：ブライアン・バークガフニ氏(グラバー園名誉園長、臨濟宗入門得度)、鶴田真由氏(女優)

モデレーター：細川晋輔師(龍雲寺住職)

禅寺の玄関でよく見かける「看脚下」「照顧脚下」と書かれた文字。「足もとに気をつけよ」というこの言葉には「禅ってなにか？」を解き明かすのに、大きなヒントが含まれています。カナダ生まれでありながら仏教に帰依し、「来庵」の僧名を受け日本の専門的な道場

で禅を9年間修行されたブライアン・バークガフニ氏。現在は長崎のグラバー園名誉園長である氏が、日本の禅道場で見つけた「自分の足もと」とは何か。アフリカ開発会議の親善大使を務められ、仏教都市鎌倉市の観光大使でもあられる女優・鶴田真由氏が迫ります。

第3部 15:30～17:00(15:00より受付開始) 「活きた禅あります！」

講師：熊野宏昭氏(早稲田大学人間科学学術院教授)、松山大耕師(退蔵院副住職)、川野泰周師(林香寺住職、精神科医)

モデレーター：永井宗直師(満願寺住職)

とく難解で、一般人の生活とはかけ離れたイメージがある禅ですが、悩める現代人の心によりそった「活きた禅」をお伝えするためのトークセッションです。マインドフルネス(気づき)瞑想法を用い心身両面での治療を実践する熊野氏、世界に向けて禅を発信

する松山師、禅僧そして精神科医として活動する川野師。魅力あふれる新進気鋭のゲストのみなさまに、現在取り組んでおられる活動、禅は平和社会の実現に貢献できるのかなど、「禅の可能性」について熱く語っていただきます。

■お申し込み方法

申し込み受付開始：平成28年3月22日(火) 以下のサイトよりお申し込みください。

http://www.myoshin-zen-c.jp/mail_form/index.htm 「東京禅センター 講座申し込み」

電話の場合：東京禅センター TEL 03-5779-3800(月～金 9:00～17:00)

定員に達し次第、締め切らせていただきます。参加費は当日、受付にてお支払いください。



■六本木ヒルズ ヒルズカフェへのアクセス

〒106-6149 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー ヒルサイド 2階

●地下鉄

東京メトロ 日比谷線 H04「六本木駅」/IC出口徒歩3分(コンコースにて直結)
都営地下鉄 大江戸線 E23「六本木駅」/3出口徒歩6分
都営地下鉄 大江戸線 E22「麻布十番駅」/7出口徒歩9分
東京メトロ 南北線 N04「麻布十番駅」/4出口徒歩12分

●バス

RH01系統(渋谷駅前→六本木ヒルズ)直行シャトルバス ※キャラクターラッピングバス(約12分)
都01折返系統バス(渋谷駅前→六本木ヒルズ)「六本木ヒルズ」「六本木ヒルズけやき坂」下車(約15分)
都営01系統バス(渋谷駅前→新橋駅前)「EXシアター六本木前」下車(渋谷駅前より約14分・新橋駅前より約16分)
都営渋88系統バス(渋谷駅→新橋駅北口)「EXシアター六本木前」下車(渋谷駅前より約20分・新橋駅前より約15分)
都営反96系統六本木循環(品川・五反田駅前→六本木ヒルズ)「六本木ヒルズ」下車(約40分)



横田南嶺(よこたなんれい) 老師

1964年和歌山県生まれ。1987年筑波大学卒業。建仁寺僧堂にて修行の後、1991年から円覚寺僧堂で修行、足立大進前管長に師事。2010年臨濟宗円覚寺派管長に就任。主な著書に『祈りの延命十句観音経』、『青松閑話』、『いろはにほへと ある日の法話より』、『禅の名僧に学ぶ生き方の知恵』など。DVDに「精一杯生きよう」がある。



千 宗屋(せんそうおく) 氏

1975年京都生まれ。慶應義塾大学大学院前期博士課程修了。2003年に武者小路千家十五代次期家元として後嗣号「宗屋」を襲名し、大徳寺にて得度。明治学院大学、慶應義塾大学で講師(日本美術史)として教鞭をとるかたわら、現代アートのアーティストや建築家など他分野とのコラボレーションにも積極的に取り組む。2008年には文化庁文化交流使としてアメリカで活動。主な著書に『茶ー利休と今をつなぐ』、『もしも利休があなたを招いたらー茶の湯に学ぶ“逆説”のもてなし』など。



ブライアン・バークガフニ(Brian Burke-Gaffney) 氏

1950年カナダ、ウィニペグ市生まれ。1972年ヨーロッパ、インドなどを経て来日。1973年臨濟宗入門得度、その後9年間、妙心寺で禅の修行を行う。1982年長崎市に移り住む。現在は長崎総合科学大学教授、グラバー園名誉園長、長崎国際文化協会顧問として、長崎の歴史、文化を伝えるなど幅広い活動を行っている。主な著書に『庵ー仏教に帰依した碧眼白哲のカナダ青年の心の旅路』、『グラバー園への招待』、『リンガー家秘録』など。



鶴田真由(つるたまゆ) 氏

鎌倉市生まれ。1988年女優デビューし、以後数々の映画やテレビドラマ、舞台、ドキュメンタリー番組などに出演。1996年日本アカデミー賞優秀助演女優賞を受賞。近年では、ドラマ『マルモのおきて』、『酔いどれ小籾次』、『株価暴落』、映画『さよなら溪谷』『ほとりの朔子』、『家族ごっこ』など話題作に出演。2008年アフリカ開発会議の親善大使を務め、2010年より鎌倉市国際観光親善大使に就任。著書に『ニッポン西遊記 古事記編』がある。



熊野宏昭(くまのひろあき) 氏

1960年石川県生まれ。1995年、東京大学博士(医学)取得。心療内科医として診療を続けるかたわら、2009年より早稲田大学人間科学学術院教授、早稲田大学応用脳科学研究所所長を兼任。主な著書に『新世代の認知行動療法』、『マインドフルネスそしてACTへ』、『ストレスに負けない生活』など。精神医療と身体医療の双方に臨床心理学を適用し、マインドフルネスやアクセプタンスを含む「新世代の認知行動療法」によって、短期間で大きな効果を上げることを目指した研究を行っている。



松山大耕(まつやまだいこう) 師

1978年京都生まれ。2003年東京大学大学院農学生命科学研究科修了。埼玉県・平林寺専門道場で3年半の修行生活を送った後、2006年より退蔵院副住職。2011年、日本の禅宗を代表しヴァチカンにて前ローマ教皇に謁見し、世界のさまざまな宗教家、リーダーと交流。2014年には世界経済フォーラム(ダボス会議)に出席するなど、宗教の垣根を超えて活動を続けている。



川野泰周(かわのたいしゅう) 師

1980年横浜市生まれ。2004年慶応大学医学部卒業後、精神科医に。大学病院やクリニックに勤務後、30歳より建長寺僧堂で修行に入る。2014年より横浜市・林香寺で住職を務めるかたわら、都内精神科クリニックや横浜市の睡眠医療機関で診療を続け、禅の可能性を精神科医の立場で切り開いている。